

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式・対面授業形式にて実施する				
担当教員	榎 おきな	実務経験	○		
実務内容	婚礼の音響ディレクターとして勤務し、数多くの挙式・披露宴を担当。現在も現場で勤務しながら指導にあたる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネーター技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ
6	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	テスト	前期内容のテストを実施する
15	総合	テストの振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

エリア	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識と用語を理解し、使いこなせる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式・対面授業形式にて実施する				
担当教員	榎 おきな	実務経験	○		
実務内容	婚礼の音響ディレクターとして勤務し、数多くの挙式・披露宴を担当。現在も現場で勤務しながら指導にあたる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期ⅠA振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだⅠAの内容の振り返り ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の1年	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式	結納について学ぶ
6	結納・婚約式	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて的小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム I		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	プライダプロデュース科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	今村 文美	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKOワークコンピテンス	SANKOワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なことは？	なりたいたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	プライダルプロデュース科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分の身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	今村 文美	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る
6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作る①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作る②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習(知識確認)する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集3級		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト30%・提出物30%・検定合格40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式・対面授業形式にて実施する				
担当教員	奥泉 凜	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要なとされる要件について 身だしなみについて
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ
5	実務技能	実務的な技能を学ぶ
6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接客者としての知識	接客者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策
9	社外文書①	社外文書の書き方を学ぶ
10	社外文書②	社外文書の書き方を学ぶ
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身につける。				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する。 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる。				
評価基準	小テスト40%・提出物30%・授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式・対面授業形式にて実施する				
担当教員	古屋 有紀	実務経験	○		
実務内容	カラーコーディネイトについての社内教育担当として10年勤務した実務経験を基に、色に関する知識・法則・技法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ ・色の心理的効果を理解する
4	配色①	・配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	・イメージ配色の重要性を理解する ・和装の配色方法を学ぶ
6	光の三要素 眼のしくみ	・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	・対比・補色対比について学ぶ ・加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する
9	色のトーン③	・メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定②	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	プライダルプロデュース科	1	15
使用教材	就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物40%・面接30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 美沙	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	2年間の就職活動の流れを把握する
2	プライダル業界の仕事について	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	プライダル関連企業について	プライダル企業について調べ把握する
4	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
5	自己分析②	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
6	自己PR①	自己PRの書き方を学び、作成する
7	自己PR②	自己PRの書き方を学び、作成する
8	履歴書について①	履歴書を作成する
9	履歴書について②	履歴書を作成する
10	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
11	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	面接練習①	模擬面接を実施する
14	面接練習②	模擬面接を実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠ-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物40%・面接30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠ-Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 美沙	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職希望調査	・今後の就職活動の流れを把握する ・アンケートの実施
2	就職先について	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	就職活動のルールについて	就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
4	就職活動の履歴書について	就職活動における履歴書について学ぶ
5	自己PR①	自己PRの書き方について学ぶ
6	自己PR②	自己PRの書き方について学ぶ
7	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ
8	志望動機②	志望動機の書き方について学ぶ
9	エントリーシートの書き方①	自己PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
10	エントリーシートの書き方②	自己PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
11	企業説明会について	企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ
12	SPI・一般常識対策	SPI・一般常識の問題を解き、実力をつける
13	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
14	面接指導②	面接練習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	リクルート 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する。				
到達目標	ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことができる。				
評価基準	プレゼンテーション50% テスト40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	杉田 明澄	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとして12年間勤務し、800組以上のコーディネートを担当。 都内を中心にホテル・ゲストハウス・ドレスショップにて勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティングの必要性	マーケティングがなぜ必要なのかを理解する
2	ブライダルビジネスについて	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	ターゲットの選定	コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る
4	商品の決定	ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える
5	集客システムについて	ブライダル業界の集客システムはどのようなものになっているのかを理解する
6	商品の告知方法	商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る
7	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
8	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
9	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
10	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
11	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
12	企業コラポ①	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
13	企業コラポ②	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
14	テスト	前期テスト
15	総まとめ	前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する。				
到達目標	後期に受験予定の全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す。				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アattend実践A、ドレスデザインB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	yukie	実務経験	○		
実務内容	LAでアパレル会社を経営後、メーカー事業と並行して原宿・渋谷で直営店を展開。多く衣装提供・製作を手掛けた経験を基に、ドレスの知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ
5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する
13	ヘアースタイルによる スタイリング効果 小テスト	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
14	前期テスト	前期筆記テスト
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する。				
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す。				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、ブライダルプランナー検定Ⅰ（WP科ハウスウェディングコース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	yukie	実務経験	○		
実務内容	LAでアパレル会社を経営後、メーカー事業と並行して原宿・渋谷で直営店を展開。多く衣装提供・製作を手掛けた経験を基に、ドレスの知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
2	体型によるスタイリング効果	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
6	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
7	和装衣装 列席者衣装	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターンシップ対策		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ対策		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	プライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	インターンシップを行う上での基礎知識を身につける。				
到達目標	インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている。 インターンシップを始めるための準備が整っている。 現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身についている。				
評価基準	提出物 30%・授業態度40%・レポート 30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	奥泉 凜 他3名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式の理解を深める インターンシップの概要説明① (1dayとアルバイトの違い)	職種理解を深める (式場・ホテル・ドレス・ジュエリー・フォト・フラワーなどの違いとやりがいを知る) インターンシップの規定・1dayとの違い・アルバイトとの違いを理解する
2	インターンシップ概要説明②	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	企業リサーチの仕方	プライダル企業を調べてみる
4	企業リサーチ	興味を持った職種にまつわる企業様を調べてみる 全国企業を知る
5	企業理解を深める	企業様のお話を聞いて企業理解を深める
6	身だしなみ 先輩動画	髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践 実際にインターンシップに行っている先輩の声をきく
7	履歴書の書き方 業界の志望動機	履歴書の書き方やポイントを理解する 志望動機の書き方を知った上で、なぜプライダル業界がいいのかを考えてみる
8	履歴書の書き方 業界の志望動機	過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する
9	履歴書の書き方 業界の志望動機	過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する
10	履歴書の書き方 業界の志望動機	履歴書を完成させる
11	面接練習①	対面面接のポイントを知る
12	面接練習②	面接の実践
13	面接練習③	オンライン面接を知る
14	電話やメールの仕方 接客対応について	企業様と失礼のないやりとりができるようになる ビジネスマナーや接客についての理解を深める
15	総合学習	インターンシップに必要な対人力を磨く インターンシップ手帳の書き方や提出方法を理解する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れを理解する。				
到達目標	衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する。				
評価基準	テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトI A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	歌門 夏美	実務経験	○		
実務内容	国内外問わず、会場決定からご考案をするフリーウェディングプランナーとして7年の経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトI Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトI Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトI Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アテンド実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する。				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でもできる。				
評価基準	テスト(筆記/実技):50% ロール・プレイング、シミュレーション:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践A・ブライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴) ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	歌門 夏美	実務経験	○		
実務内容	国内外問わず、会場決定からご考案をするフリーウェディングプランナーとして7年の経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する
6	披露宴入場説明 お色直し入場説明	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	先導について	
8	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈(演出)	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	アテンドについて	
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	
12	実技テスト	
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門		出版社	講談社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する。				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。				
評価基準	テスト30%・授業態度30%・検定合格40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 香菜 他2名	実務経験	○		
実務内容	有名フラワーショップのフラワーデザイナーとしてコンセプトウェディングの装飾デザインや制作に携わる。その経験・技術を活かしフラワーアレンジメントに関わる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・フラワーデザインについて ・リボン作成	・フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ ・リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①(ドーム型)	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル②(水平型)	テーブルの形をテーブルアレンジの関係性を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	キャスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、キャスケードブーケを作成する
10	テスト	テスト
11	トライアングラー	三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリー	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリーの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることができる。				
評価基準	授業態度40%・制作物40%・振り返り20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、アテンド実践A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	歌門 夏美 他3名	実務経験	○		
実務内容	国内外問わず、会場決定からご考案をするフリーウェディングプランナーとして7年の経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セッションについて理解する
2	目標・テーマ・各セッション決定	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	スケジュール・予算立て、デッサンシー	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セッション制作①	各セッションごとに準備を進める
5	各セッション制作②	
6	各セッション制作③	
7	各セッション制作④	
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサル①を行う（各セッション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	挙式リハーサル②を行う（各セッション、動きの確認）
11	挙式リハーサル③	挙式リハーサル③を行う（各セッション、動きの確認）
12	全体リハーサル①	全体リハーサル①を行う（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサル②を行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける。 ・業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーションできる。 ・これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる。 				
評価基準	校内選考企業評価50%・グループレポート30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	歌門 夏美 他3名	実務経験	○		
実務内容	国内外問わず、会場決定からご考案をするフリーウェディングプランナーとして7年の経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
7	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
8	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
9	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
10	リハーサル	リハーサルを行う
11	リハーサル	リハーサルを行う
12	リハーサル	リハーサルを行う
13	本番	コンペティション本番 (授業外での開催の可能性もあり)
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールス		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールス		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。				
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、お客様の満足度を得られる接客スキルを身につける。第一印象が重要な業界を目指すための立ち居振る舞い・姿勢・表情を意識する意味・身だしなみを整える大切さを理解し、インターンシップや日頃の学校生活で実践する。 就職活動等、今後のブライダルプロジェクトに活かせる、話し方、聴き方、カウンセリングで効果的な質問、受け答えができるようになる。				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	星野 大介	実務経験	○		
実務内容	長年にわたりブライダルの第一線でウェディングプランナーおよび支配人として数多くの結婚式を手がける。現場で培った豊富な実務経験と接客力を生かし、現在はフリーランスとしてブライダルの現場に携わる一方、講師として次世代のブライダル人材の育成にも力を注いでいる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	・教員自己紹介 ・授業ルールについて ・皆が考えるセールスのゴールを考え様々な意見を吸収する
2	ウェディングビジネス マインド	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	身だしなみ	・自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違い ・プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち自己演出を考える
4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方 高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける
6	求められる5つの基本能力 アイズブレイクについて①	・プレゼンテーション力とは ・ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力とは 自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る。 ・アイズブレイクとは
7	新規接客のご挨拶 アイズブレイク② ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイング。
8	新規接客のご挨拶 アイズブレイク③ ロールプレイング②	
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合わせて接客することが大切だと学ぶ。 発想の転換でポジティブに変換する。
10	お客様の印象が変わる話し方	①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情 お客様が心地よいと感じる話し方を身に付ける。
11	お客様の印象が変わる 聴き方	①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方 お客様は話しやすいと感じる聴き方を身に付ける。（ペアワーク実施）
12	お客様の印象が変わる 話し方・聴き方を 身につける為のロールプレイング	お客様の印象が変わる話し方、聴き方を実践する。
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーティプロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	パーティプロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	リクルート 社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングができるように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける。				
到達目標	新郎新婦の要望に基づいたテーマプランニングができる。				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	オリジナルプランニング・ホテルプランニング・ブライダル知識Ⅰ、Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	榎 おきな	実務経験	○		
実務内容	婚礼の音響ディレクターとして勤務し、数多くの挙式・披露宴を担当。現在も現場で勤務しながら指導にあたる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 挙式スタイルの基礎知識	授業の目的・授業のルールの確認 挙式の種類と特徴について知る
2	挙式の流れと演出②	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	挙式の流れと演出①	人前式について 人前式の演出についてについて学ぶ
4	テーマウェディングとは	テーマウェディングについて学ぶ
5	挙式プロデュース①	テーマウェディングの挙式をプロデュースする
6	挙式プロデュース②	テーマウェディングの挙式をプロデュースする
7	挙式プロデュース③	テーマウェディングの挙式プロデュースの発表をする
8	披露宴の基礎知識	披露宴について知る
9	披露宴の流れと演出①	披露宴の進行について学ぶ
10	披露宴の流れと演出②	披露宴の演出、当日のスケジュールについて知る
11	披露宴プロデュース①	テーマウェディングの披露宴をプロデュースする
12	披露宴プロデュース②	テーマウェディングの披露宴をプロデュースする
13	披露宴プロデュース③	テーマウェディングの披露宴プロデュースの発表をする
14	テスト	テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる。				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの成績評価が2以上のもの				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	スキンケアについて学ぶ	前回の復習 スキンケアの種類、方法などを学ぶ実際に相モデルで行う
4	スキンケア実技・筆記小テスト① ファンデーション導入	スキンケアの基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施 ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践
5	アイメイクについて学ぶ①	今まで学んだ箇の復習ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
6	アイメイクについて学ぶ②	前回の復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
7	アイブロウについて学ぶ①	前回の復習 基本の眉のプローションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブロウについて学ぶ②	前回の復習 アイブロウ相モデルで実践。左右対称に行い、形の違いを理解する
9	チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ	前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ（3パターン行う）
10	フルメイクの練習①	【テストに向けて】 タイムトライアル（45分） ・時間内にメイクができるようになる。 ・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりに）反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	
12	フルメイクの練習③ 筆記小テスト②	
13	フルメイクの練習④	
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト前日に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク B		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる。				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの成績評価が2以上のもの				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プローションについてレクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	シャープ理論を学ぶ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
5	ソフトORシャープの練習①	検定に向けて実践練習
6	ソフトORシャープの練習②	タイムトライアル制限時間内にメイクをする
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服(苦手な部分を集中して練習)
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プローション、パーツと印象の関係、プローションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する (SWEET/ROMANTIC)
10	メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
11	メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CASUAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑥ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるコラージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠA		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ等		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術を身につける。				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 検定に向け時間内に仕上げるができる。				
評価基準	前期…筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定3級 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験初級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 しのぶ 他1名	実務経験	○		
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、手や足のケア技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション テーブルセッティングについて	オリエンテーション(前期の流れとゴール設定、検定について) 教材チェック、テーブルセッティングのやり方について学ぶ(P70~72)
2	【座学】ネイルの歴史 【実技】ファイリング、カットスタイル	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	【座学】技術体系、爪の構造と働き 【実技】ファイリング、クリーンナップ	技術体系(P14~15)を学ぶ爪の構造と働き(P16~19)、 【実技】ネイルケアのステップ、 ファイリング~クリーンナップ(P73~74、77~81)
4	【座学】皮膚科学 【実技】クリーンナップ	皮膚科学(P20~22)を学ぶ 【実技】バッフィング、クリーンナップ
5	【座学】消毒法 【実技】クリーンナップ	消毒法(P38~45)を学ぶ 【実技】クリーンナップ
6	【座学】検定対策 【実技】バッフィング、カラーリング	小テスト、検定対策 【実技】バッフィング、カラーリング、ポリッシュオフ(P75、82~84)
7	【座学】皮膚科学、検定対策 【実技】アート	皮膚科学(P20~22)を学ぶ、小テスト、検定対策 【実技】アート(P118~134)
8	【座学】 プロフェッショナリズム~衛生基準 【実技】3級検定対策	【筆記・実技】3級検定対策
9	【座学】爪の病気とトラブル 【実技】3級検定対策	【座学】爪の病気とトラブル(P30~36)を学ぶ
10	【実技】3級検定対策	【実技テスト】検定内容で実技テストを行う(検定対策)
11	【筆記】テスト 【実技】3級検定対策	【筆記テスト】 ネイル検定の3級に合わせた内容で筆記テスト行う
12	【実技】テスト	【3級検定対策】 何度も反復練習することで、施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る
13	【実技】テスト(予備日)	
14	3級検定説明	3級の検定試験について、要項、DVDなどを使用して学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式 ア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ、ジェル道具一式、チップラップ道具一式		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を習得する。				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 検定に向け時間内に仕上げることができる。				
評価基準	後期…検定結果(3級)30% 検定結果(初級)30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 しのぶ 他1名	実務経験	○		
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、手や足のケア技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3級検定説明 【実技】3級検定対策	オリエンテーション (後期の流れやゴールを確認) 検定要項を使用し、3級検定について詳細を説明する 【実技】 3級検定に向けタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
2	【実技】3級検定対策	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3		
4	【座学】 ジェルネイル基礎理論 【実技】 クリア、1カラー、オフ	ジェル検定初級(時期、内容)について ジェルネイル基礎理論 (テクニカルシステム ジェル P16~42) 【実技】 プリパレーション、クリア、1カラー、オフ (テクニカルシステム ジェル P56~60 82~83)
5	【実技】 ピーコック	【実技】 ピーコック (テクニカルシステム ジェル P96~99) 1カラー~ピーコック
6	ジェル検定初級説明 【実技】 ジェル検定初級対策	ジェル検定初級について要項やDVDを使用して学ぶ 【実技】 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
7	【実技】ジェル検定初級	【実技】 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
8		
9	【筆記】小テスト 【実技】ジェル検定初級	ジェル検定初級の筆記内容で筆記小テストを行う ~実技~ 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
10	【実技】トレンドアート	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	【実技】トレンドアート	流行のトレンドアートについて学ぶ
12	【実技】カラーリング・アート	カラーリング・アートについて学ぶ
13	【実技】カラーリング・アート	カラーリング・アートについて学ぶ
14	【実技】カラーリング・アート	カラーリング・アートについて学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得する。				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる。				
評価基準	検定・テスト60%、課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級（後期パソコン演習Bにて実施）				
関連科目	パソコン演習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大塚 美佑	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標を把握する PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用法、リテラシーについて理解する
2	Word入門①	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法を学ぶ
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動を学ぶ
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体を学ぶ
6	Word応用①	表の作成・編集を実施する
7	Word応用②	表の作成・編集を実施する
8	文書作成	表入りビジネス文書作成を実施する
9	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について理解する
10	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算を実施する
11	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更を実施する
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
13	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
14	前期確認テスト	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成)を実施する
15	前期パソコン演習A復習	前期パソコン演習Aの総まとめ 確認テスト問題解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word & Excel 2021 はじめてのPowerPoint 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム	

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得する。				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる。				
評価基準	テスト60%、課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大塚 美佑	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	PowerPoint入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだWord,Excelを踏まえPowerPointの動作を学ぶ
2	パワーポイント基礎①	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
4	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
5	Word復習	表入りビジネス文書作成と解説
6	Excel復習①	表計算問題実施と解説
7	Excel復習②	表計算問題実施と解説
8	Word・Excel復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
9	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
10	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
11	後期テスト	学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題の実施
12	問題解説	確認テスト問題解説
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入を行う
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	・欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する。 ・ブライダルプランナー検定2級を取得する。				
評価基準	検定結果：60% 小テスト：30% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルプランナー検定2級				
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	榎 おさな	実務経験	○		
実務内容	婚礼の音響ディレクターとして勤務し、数多くの挙式・披露宴を担当。現在も現場で勤務しながら欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第1章 アメリカンウェディングとは	・アメリカンウェディング全体を理解する ・第1章の過去問を解く
2	American Weddings 第6章 アメリカンウェディングとは	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	American Weddings 第2章 アメリカンウェディング	・ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について理解する ・第2章の過去問題を解く
4	American Weddings 第3章・4章 アメリカンウェディング	・それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について理解する ・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ・第3章の過去問題を解く
5	American Weddings 第4章 アメリカンウェディング	・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ・各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ・第4章の過去問題を解く
6	American Weddings 第5章 アメリカンウェディング	・レセプションについて学ぶ ・アメリカンウェディングの総まとめ ・第5章の過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第1章 日本のブライダル市場	・特に1990年代の動向について知る ・第1章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第2章 ウェディングの決定	・結納・結婚式について知る ・第2章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第3章 婚礼施設の主要業務	・第3章の過去問題を解く
10	Japanese Weddings 第4～5章 関連商品・サービス 衣装・主要各業務	・第4章、第5章の過去問題を解く
11	検定対策(総まとめ)①	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策(総まとめ)②	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	・検定試験の解答を行い、自己採点を行う
14	記述対策	・過去問題や対策プリントなどを作成し、対策を行う
15	総合学習	・総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解し、イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤 智緒里	実務経験	○		
実務内容	長きに渡り、第一線のウェディングプランナー・空間コーディネーターとして活躍。講師歴も長く、業界動向や現場経験を基に後進の育成に従事する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	空間演出	結婚式における空間演出の重要性を学ぶ
2	空間演出の役割	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	テーブルプラン	テーブルの様々な種類のイメージを学び、テーブルプランを考える
4	機材	空間演出において機材の必要性和種類を学ぶ
5	テーブルクロス	テーブルクロスの効果を学ぶとともに、たたみ方・裏表・山谷について学ぶ
6	センターピース	センターピースの役割を学び、色のもつイメージを学ぶ
7	色のトーン	同じ色でもトーンが違うことでイメージや相性のいい色がある事を学ぶ
8	小テスト 感性分類	感性分類という色のすみ分けについて学ぶ
9	感性分類	感性分類マップ別によって感じる印象の違い、イメージを学ぶ
10	イメージ別コーディネート①	エレガントに分類されるコーディネートを学ぶ
11	コラージュ①	エレガントに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
12	イメージ別コーディネート②	ロマンティックに分類されるコーディネートを学ぶ
13	コラージュ②	ロマンティックに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
14	テスト	前期末テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践A		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。				
評価基準	テスト（実技40％・筆記40％）：80％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀島 直輝	実務経験	○		
実務内容	国内有数のホテル・式場にて、多様なバンケットや接客現場を経験しながら、サービス力とホスピタリティを磨く。ソムリエ資格を取得後は、ワインの知識を活かした提案力にも強みを広げ、スーパーバイザー兼シェフソムリエとして現場を統括し、スタッフ育成やサービス品質の向上にも尽力した。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・授業の目的、使用教科書、成績評価、授業のルール ・サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	什器備品の知識 テーブルクロスのセッティング	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る クロスのかけ方、ナプキン折りについて理解する
4	テーブルマナー メニューの読み方を知る	テーブルマナー、フランス料理フルコースの表現を理解する
5	お出迎え～提供サービス① 実技（練習）	サービストレイの取り扱い
6	お出迎え～提供サービス② 実技（練習）	料理皿の提供と下げの作業動作を理解し実践する
7	お出迎え～提供サービス③ 実技（練習）	お出迎えからオーダーテイクまでの一連の動作を理解し実践する 飲料の提供サービスを理解する
8	お出迎え～提供サービス④ 実技（練習）	アメリカ式サービスの基本動作を理解し実践する
9	お出迎え～提供サービス⑤ 実技（練習）	お出迎えから提供サービスまでの一連の流れを実践する
10	お出迎え～提供サービス⑥ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
11	お出迎え～提供サービス⑦ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
12	レストランの管理業務組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る
13	レストラン等の電話応対 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話応対・正しい接客用語を学ぶ
14	半期の総まとめ	半期の総まとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスフィッティング		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスフィッティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスデザインA・Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身につける。				
到達目標	ドレスショップでの接客、衣装の補正方法を理解しフィッティング時の基本的な対応や時間内での接客対応、コーディネート提案ができる。				
評価基準	テスト50%・実技30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ドレスデザインAB、ソーイング&メンテナンスI				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	yukie	実務経験	○		
実務内容	LAにてアパレル会社経営。その後メーカーの傍ら、原宿・渋谷にて直営店経営。数多くの芸能人へ衣装提供、製作を手掛けた実務経験を基に、フィッティング時の基本的な対応や時間内での接客対応、コーディネートの提案方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・ドレス室マナー	ドレス室の使用法、衣装(ドレス・タキシード)扱い方・パニエ・ベールのたたみ方・ハンガーの種類等の説明
2	ブライダルインナーについて	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	ドレスの採寸実習	採寸実習
4	新婦の洋装フィッティング① ブライダルインナーの着せ付け	ドレス選択からフィッティング実習 インナーの着せ付け方法を実践する
5	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング実習
6	新婦の洋装フィッティング③	ドレス選択からフィッティング実習
7	新郎の洋装フィッティング 列席者衣装フィッティング	新郎の洋装(タキシード)補正技術 列席者衣装(モーニングコート)フィッティング
8	カウンセリング基本	カウンセリングシートを用いて基本的な聞き取り方法 ペアでカウンセリングのみロールプレイング
9	プレゼン基本	プレゼンテーションのポイント カウンセリングした内容からドレスを1着選び、どのように提案していくかプレゼン内容をノートにまとめさせる
10	洋装フィッティング①	先週まとめたものをフィッティングしながら実践
11	洋装フィッティング②	全員の前でフィッティング+プレゼンの実践(1人7分程度、時間配分は人数による)
12	洋装フィッティング③	全員の前でフィッティング+プレゼンの実践(1人7分程度、時間配分は人数による)
13	私服コーディネート	私服で採用試験に臨むケースが増えてきている為、各自私服のコーディネートとその内容をプレゼンする
14	後期試験	補正の試験
15	総まとめ	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク道具一式 電子版BASIC/BRIDAL		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルメイクの基礎としてベースメイクの質感や、ドレスやモデルに合わせて似合うメイク(色・形・バランス)を感覚的に身につける技術を習得する。				
到達目標	ブライダルの現場で求められる考え方やセンス、メイクテクニックの応用に対応できる。				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 顔分析の基本	オリエンテーション <input type="checkbox"/> プロポーション・プロポーションパーツ・フェイススタイル・ベースメイクを学ぶ
2	FACE STYLEに合わせた 錯覚メイクや色の錯覚つけまつげの付け方	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	FACE STYLE① (キュート)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
4	FACE STYLE② (エレガント)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
5	FACE STYLE③ フレッシュ)	<input type="checkbox"/> メイクパターンよりモデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
6	FACE STYLE④ (クール)	<input type="checkbox"/> メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
7	モデル・似合わせメイク① モデルの顔の特徴と 同じメイクパターン	<input type="checkbox"/> デッサンを描く⇒余白や特徴を覚えて理解する
8	モデル・似合わせメイク② モデルの顔の特徴と 正反対のメイクパターン	<input type="checkbox"/> 学んだ知識を踏まえ顔の分析ができるようになる ①素肌の状態から4パターンにするにはどうしたらよいかを考える ②相モデルで顔分析しデザインシートにどんなテクニックが必要か考える ③モデルの素肌状態は4パターンの内どれかを分析後、顔の長さ、パーツの位置、パーツの形、色、などこれまで学んだ技術を通じ逆パターンのイメージに仕上げる
9	モデル・似合わせメイク③ モデルの顔の特徴と ドレスに合わせたメイクパターン	
10	実技テスト FACE STYLE分析メイクテスト	<input type="checkbox"/> 今まで4つのパターンより、モデルに合わせた顔の分析し、 デッサンとメイクをシテーマに合わせる
11	成人式メイク	<input type="checkbox"/> 成人式メイクを知る 振袖に合わせたメイク・肌の作り方・カウンセリング、提案方法を学ぶ
12	成人式メイク	<input type="checkbox"/> 振袖に合わせたメイクの実践
13	筆記、デッサンテスト	筆記テスト+デッサンテスト
14	実技テスト	デッサンを基に実技テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する。				
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる。				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ	実務経験	○		
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。現場での旬なスキルを活かし授業を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ・ブラッシング・ブロッキング	オリエンテーション 教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明
2	黒ゴム結び ・ポニーテール	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	ポニーテール	ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する
4	編み込み①	表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み
5	編み込み② (小テスト)	編み込み小テスト
6	アイロンスタイリング	アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ
7	ビニング①	ビニングの留め方とバリエーションを学ぶ(ハーフアップでビニングと巻きをチェック)
8	ビニング② (小テスト)	学んだ技術の小テスト(ハーフアップ)
9	ホットカーラー①	ホットカーラーの巻き方を実践する
10	ホットカーラー②	ホットカーラー反復練習を行う
11	ホットカーラー③・逆毛導入	ホットカーラー反復練習を行う・逆毛の立て方を説明(ボリューム逆毛+つなぎ逆毛)
12	ホットカーラー④	ホットカーラー反復練習を行う&スクリュール逆毛でポニーテールからのカールアップ
13	ホットカーラー⑤ (小テスト)	ホットカーラー全頭20分を実施する&テストスタイル作成&練習
14	実技テスト・筆記テスト	前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する 前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身につける。				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身についている。 相手の立場に立った物の考え方ができる。 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考					
担当教員	奥泉 凜 他3名	実務経験			
実務内容					